



令和7年2月28日
大田区南久が原 2-17-1
電話 (3750)2260
FAX (3750)2280

歌に織り込まれていく記憶、それを文化と呼ぶのなら……

大田区立東調布第三小学校
校長 並木 昭

全国各地の学校の卒業式で歌われている「旅立ちの日に」を作詞した小嶋登氏が鬼籍に入られた平成23年（2011年）に、「仰げば尊し」の原曲を発見したという研究がなされました（櫻井ほか、2015）。原曲は、"Song for the Close of School"（卒業の歌）という曲名で、19世紀にアメリカで出版された歌集に載っていたものです。「仰げば尊し」をはじめ、『小学唱歌集』（1882～84年刊行）に収録されている歌の大半は、120年以上の間、原曲が不明のままだったのです。

覚えている歌や忘れられない歌、そうした思い出に残るメロディが、過去の記憶を呼び起こすことがあります。その記憶の多くを刻む場所の一つに、保育園や幼稚園、こども園、そして学校があると言えます。歌は記憶を伴って、心の中に、支柱とも言えるような自我を形成していきます。それらの記憶を共有する人々や国土に、文化は根付いていきます。

文化とは、暮らしの記憶として受け継がれ、形作られるものです。喜びも悲しみも、日々の生活のドラマから生じるあらゆる出来事は、文化の継承の営みに織り込まれていきます。「あの時は、こうだったんだよ。」という昔話の類は、その一例です。

本校は次年度から、区独自教科「おおたの未来づくり」を第5・6学年において実施いたします。希望ある未来を主体的かつ創造的に生きる人の育成を目指し、新たな授業実践に取り組みます。今の社会が抱える問題点を理解し、課題意識をもって持続可能な社会の実現のために考え、行動していく活動を展開します。これらの学習を通して、未来を創造するために、常に今の一瞬が過去になっていく実感を伴って最新の知見を学び、考え、創るという循環を大切にする児童を育成していきたいと考えています。

児童は、「今」の記憶を精緻に刻んでいきます。その「今」の充実と蓄積が、文化を成熟させ、未来を創っていきます。これからも、教職員の知恵と努力を結集し、未来を志向する学校創りに取り組んでまいります。

令和6年度を終えるにあたり、保護者の皆様、地域の皆様、本校に縁するすべての方々に、改めまして深く感謝を申し上げます。次年度も、どうぞよろしく願いいたします。